

鑑賞文を書くことは、作品のより深い鑑賞や理解につながります。

やってみよう

次の俳句をよんで、下の条件にしたがって二百字程度の鑑賞文を書きなさい。

古池や蛙飛びこむ水の音

松尾 芭蕉

- 条件 1 …俳句の大意、表現の特徴とそれから受け取る感じ、自分の感想の三つを書くこと。
- 条件 2 …作者のものの見方について、表現を手掛かりにして考えを述べること。
- 条件 3 …本文は、原稿用紙の使い方にしたがって、百八十字以上二百字以内で書くこと。
- 条件 4 …文末は常体(だ・である体)で書くこと。

俳句の鑑賞文を書くときは、次のようなことを考えよう

- ・季語 ・季節 ・切れ字 ・句切れ
- ・表現技法 ・表現の効果
- ・見える景色 ・感動の中心
- ・刺激される感覚 など

《参考にしよう》

「学習プリント」読むこと」9

「俳句を味わう」

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--